

埼玉県地域医療構想 今後の方向性 取組実績一覧

東部医療圏

(1) 医療機能の分化・連携及び病床の整備

	今後の方向性	取組の内容・実績	来年度の取組(案)
1	・ 医師・看護師の確保が最重要課題である。	1 各団体において、学生への修学資金貸与、学校への説明会、実習生の受入等を実施している。	1 各団体において、学生への修学資金貸与、学校への説明会、実習生の受入等を引き続き実施する。
2	・ 医療連携を推進するために、その核となる地域医療支援病院が必要である。	2 平成29年10月24日獨協医科大学埼玉医療センターが地域医療支援病院に承認された。	2 なし。
3	大学病院、市立病院など規模の大きい病院が中心となり、医師及び医療スタッフを、回復期や慢性期の機能を持つ病院へ派遣することで、病院間の役割や機能について相互理解を深め、密接な連携を可能にする。		3 各医療機関で検討する。

(2) 在宅医療等の体制整備

	今後の方向性	取組の内容・実績	来年度の取組(案)
1	・ 在宅医療を推進するため、住民側の意識の変化を促す啓発(特に終末期をどのように迎えるか、延命治療、人工呼吸器の装着、胃ろうの造設に対する自己決定等)が必要となる。	1 各団体において、ACPをテーマとした講演会を実施又は予定している。また、住民向けの在宅医療リーフレット・ガイドブックを作成し配布した団体もある。	1 引き続き、各団体においてACPをテーマとした講演会等を実施する。また、住民向けの在宅医療リーフレット・ガイドブック等の配布などにより周知していく。
2	・ 医師会立などの在宅医療専門診療所、訪問看護ステーションの開設を検討していくべきである。	2 当圏域内の医師会の全てで訪問看護ステーションを設立しており、各自治体からの業務を受託している。	2 なし(完了している)。